

3 年次科目		4 年次科目	
【成人・老年看護学】 老年看護援助論 (※) 78 クリティカルケア (※) 79 クリティカルケア 80 成人・老年看護援助論演習 81 【母性・小児看護学】 発達看護援助論演習 (※) 母性看護援助論演習} を参照 小児看護援助論演習} 83・85 母性看護援助論 82 母性看護援助論演習 83 小児看護援助論 84 小児看護援助論演習 85 障害児ケア (※) 86 【精神看護学】 精神看護援助論 87 精神看護援助論演習 88 【地域看護学】 地域看護活動論Ⅲ (※) 89 (地域看護活動の場の違いと特徴) 【公衆衛生看護学】 公衆衛生看護学Ⅱ 90 保健活動・保健指導の応用 公衆衛生看護学Ⅲ 91 地域診断演習 【臨地実習】 成人看護学実習 (急性期) (※) 92 成人看護学実習 (急性期) 93 成人看護学実習 (慢性期) 94 老年看護学実習 95 母性看護学実習 96 小児看護学実習 97 精神看護学実習 98 地域看護学実習 (※) 99 【在宅看護】 在宅看護論Ⅱ 100 【展開】 看護研究入門 101 災害看護 102 【臨地実習】 在宅看護実習 103		【人間と社会】 法学 (日本国憲法を含む) (※) 104 体育 (※) 105 【生活者の健康】 障害者心理学 (※) 106 音楽療法 107 【精神看護学】 精神保健看護論 (※) 108 【公衆衛生看護学】 公衆衛生看護学Ⅳ 109 公衆衛生看護管理 公衆衛生看護学Ⅴ 110 保健活動・保健指導の発展 【臨地実習】 公衆衛生看護学実習 111 【展開】 ヒューマンケアリング論Ⅲ 112 国際保健学 (※) 113 国際保健学 114 看護管理学 115 看護の歴史 116 緩和ケア (※) 117 緩和ケア 118 看護学特論 119 総合看護演習 120 卒業研究 121 【臨地実習】 看護学総合実習 (※) 122 看護学総合実習 123	
< 注 > (※)2008 ～ 2011 年度生用科目		< 注 > (※)2008 ～ 2011 年度生用科目	

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
法学 (日本国憲法を含む)	選択	2 単位	4 年	後期	水 島 玲 央
【科目名の英文】 Law(& Japanese Constitutional Law)					
【一般目標】 (General Instructional Objective: GIO) 「法」や「裁判」と聞くと、なにか権威的で抑圧的なもののように感じるかもしれません。しかし、私たちが平穏無事な日常生活を送ることができているのは、法に守られているからなのです。法がきちんと機能しない「無法地帯」であったとしたら、「力こそが正義」のジャングルのような世界となってしまいます。この講義を通じて、「法」や「裁判」が抑圧的で面倒なものというイメージから脱却し、日常生活における法の役割を理解していただければと思います。					
【個別的行動目標】 (Specific Behavioral Objective: SBO) ・ 憲法は国家権力を制限して国民の権利を守るものだとすることを理解する。 ・ 統治機構を学ぶことで日本の政治システムを理解する。					
【授業の内容】					
回数	題 目	講 義 内 容			担当者
1	ガイダンス	授業の進め方や採点方法について説明します。			水 島
2	法とは何か	社会生活において法とは何かを考えていきます。			水 島
3	国民主権と象徴天皇制	国民主権と天皇制について学習します。			水 島
4	平和主義	平和主義と自衛隊について学習します。			水 島
5	自由権	基本的人権のうち自由権を中心に学習します。			水 島
6	社会権・受益権	社会権と受益権について学習します。			水 島
7	参政権	参政権と選挙制度について学習します。			水 島
8	国会・内閣	国会や内閣の組織と権限について学習します。			水 島
9	裁判所	最高裁判所や下級裁判所の組織や権限について学習します。			水 島
10	犯罪と刑罰	犯罪をしたらどうなるか、刑法を学習します。			水 島
11	契約と法	民法を中心に学習します。			水 島
12	家族と法	家族関係はどのように法律で定められているか学習します。			水 島
13	労働者と法	社会人になって労働者の権利を学習します。			水 島
14	国際関係と法	国際社会にはどのような取り決めがあるかみていきます。			水 島
15	まとめと評価	これまで学習したことの復習をします。			水 島
【教科書】 特になし。					
【参考書】 伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門』（有斐閣・2005）、小型の六法。					
【成績評価方法】 学年末の試験だけでは習得度の把握が難しいため、復習と出欠確認を兼ねた小テストを適宜実施します。					
【注意事項】 授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は他の受講生に迷惑となるので御遠慮下さい。					
【備考】 日頃から新聞などをよく読み、世の中の動きを常に把握しておいて下さい。 授業計画は場合によって変更することがありますのでご了承下さい。					

授 業 科 目 名		必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
体 育		選択	2 単位	4 年	前期	森 村 和 浩
【科目名の英文】 Physical Education						
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） 体育は、人が生きるために必要な知恵や生命を育むための土台となる教養である。特に身体活動・運動は、生活習慣病と密接に関わっているだけでなく、メンタルや生活の質にも効果をもたらすことが科学的に明らかにされ、健康づくりだけでなく様々な疾病予防や介護予防等の重要な要素として身体活動や運動が重要視されるようになってきている。そこで本科目では、身体運動が身体に及ぼす影響や効果について科学的に理解するとともに、これらを実践する能力を養うことを目標とする。						
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） 以下に示す目標の達成を目指す。 1. 自己の体力水準を把握し、今後の運動実践へ動機づける。 2. 健康づくりの必要性と方法を理解し、その向上を自ら図ることができる。 3. 生涯にわたり身体運動やスポーツを通じて健康・体力づくりの実践ができ、かつ積極的に運動・スポーツを実践できる態度・技術や能力を身につける。 4. 身体運動・スポーツを通じた人間関係の改善・向上など、他者と円滑なコミュニケーションを図ることができる態度や能力を養う。						
【授業の内容】						
回数	題 目	講 義 内 容				担当者
1	オリエンテーション	授業の目的と進め方、生涯スポーツとは				森 村
2	体力	体力とは、体力構成要素				森 村
3	体力測定・評価	体力測定・評価の意義と方法				森 村
4	運動・スポーツと栄養	運動・スポーツと栄養				森 村
5	健康関連体力	健康度や生活習慣病に関連する体力とは				森 村
6	健康づくりと運動療法	健康づくり・運動療法の理論と実際				森 村
7	エアロビクトレーニング	エアロビクトレーニングの理論と実践				森 村
8	ストレングストレーニング	ストレングストレーニングの理論と実践				森 村
9	コンディショニング	身体コンディショニングの理論と実践				森 村
10	体ほぐし運動	「体への気付き」「体の調整」「仲間との交流」の三要素をねらいとし、アイスブレイクやスポーツ種目、ニュースポーツ等のルールや技術等を学び、実践する。				森 村
11	基本運動①					森 村
12	基本運動②					森 村
13	集団運動①					森 村
14	集団運動②					森 村
15	総括	まとめ				森 村
【教科書】 配付資料						
【参考書】進藤・田中編「健康づくりトレーニングハンドブック」朝倉書店 山地・大築・田中編「スポーツ・運動生理学概論」明和出版 ACSM(著), 日本体力医学会体力科学編集委員会(翻)「運動処方の指針 原書第8版」						
【成績評価方法】 授業に取り組む姿勢と小テストや期末試験から総合的に評価する。						
【注意事項】 授業の行われる場所は授業内容や天候により異なります。事前に確認すること。						
【備考】 運動に適した服装（運動服）とシューズを準備すること。ジーンズなど運動に適さない服装は不可とする。						

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
障 害 者 心 理 学	選択	2 単位	4 年	後期	大 野 博 之
【科目名の英文】 Psychology of the Disabled					
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） 障害児・者に対する社会の理解が深まり、バリアフリーの考え方が浸透してきたものの、未だ十分とは言えない状況にある。とくに、対人援助職関係者は偏見を持たないより適切な対応が必要とされるので、彼らに対する正しい理解を深め、一方的にならないような援助の心を育てる。					
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） 障害児・者の理解に基づいて援助の理論・技法を学習する。					
【授業の内容】					
回数	題 目	講 義 内 容			担当者
1	現代社会と障害者	障害者を取り巻く環境とバリアフリーについて			大 野
2	障害の意味と理解	障害の3つの水準			大 野
3	障害者の心理特性（1）	運動障害・肢体不自由者の心理			大 野
4	障害者の心理特性（2）	知的障害者の心理			大 野
5	障害者の心理特性（3）	視覚障害者の心理			大 野
6	障害者の心理特性（4）	聴覚障害者の心理			大 野
7	障害者の心理特性（5）	内部障害、病弱・身体虚弱者の心理			大 野
8	障害者の心理特性（6）	精神障害者の心理			大 野
9	障害者の心理特性（7）	学習障害・注意欠陥多動性障害の心理			大 野
10	障害者の心理特性（8）	自閉性（自閉症）スペクトラム障害の心理			大 野
11	障害者の心理特性（1）	家族への支援			大 野
12	障害者への支援（2）	施設での支援			大 野
13	障害者への支援（3）	心理療法			大 野
14	障害者への支援（4）	動作法と心理リハビリテーション			大 野
15	まとめと評価				大 野
【教科書】 なし					
【参考書】 田中農夫男ら編「ライフサイクルからよむ障害者の心理と支援」（福村出版）、他 授業の中で適宜紹介					
【成績評価方法】 出席、レポート、期末テストを総合的に評価する					
【注意事項】					
【備考】					

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
音 楽 療 法	選択	2 単位	4 年	後期	米 倉 裕 子
【科目名の英文】 Music Therapy					
【一般目標】（General Instructional Objective:GIO） 音楽は、それが人間の心身に与える影響力から、太古の時代より現代に至るまであらゆる臨床の場面で利用されてきた。音楽は人間のやさしい気持ちから生まれてくるといわれており、そのスピリットは臨床家を目指す者にとって欠かせないものである。この授業では、音楽が持つ治療的特性やその効用についての理解を深めることを目的とし、実際の臨床現場で実施されている様々なクライアントに対しての音楽活動の例について学習する機会を持つ。					
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective:SBO） (1) 医療・福祉・教育の現場で効果的なツールとして重要視されている音楽療法の概要と現状について学習する。 (2) 日常生活の中に在る音楽を再認識し、音楽と健康な生活との関連性について考察する。 (3) 全人的医療に不可欠な音楽の特性を学び、自分自身の将来の臨床現場における音楽療法士との連携の可能性について考察する。 (4) クラス内におけるディスカッション、パフォーマンスにおいて積極的な自己表現を経験する。					
【授業の内容】					
回数	題 目	講 義 内 容			担当者
1	イントロダクション	音楽療法の現状について			米 倉
2	音楽療法の概論	音楽療法の対象者や実施現場、及び資格制度などについて			米 倉
3	音楽療法の歴史	欧米及び日本における音楽療法の歴史について			米 倉
4	人間と音楽	人間の発達過程における音楽との関連性について			米 倉
5	音楽療法の治療過程	音楽療法の科学的側面について			米 倉
6	我々を取りまく音について	日常生活における音楽と我々の健康との関連性について			米 倉
7	音楽の特性について	音楽療法のツールとなる「音楽」の特徴とその効果について			米 倉
8	社会における音楽の機能	音楽の社会的機能について／コミュニティ音楽療法について			米 倉
9	児童を対象とした音楽療法	様々な場面における児童を対象とした音楽療法について			米 倉
10	精神障がい者の治療における音楽療法	精神疾患のクライアントを対象とした音楽療法について			米 倉
11	高齢者を対象とした音楽療法	高齢者が抱える問題と音楽療法の関連と現状、及びこれから			米 倉
12	音楽療法とリハビリテーション	リハビリテーションの現場における音楽療法について			米 倉
13	音楽療法と未熟児	未熟児を対象とした音楽療法について			米 倉
14	音楽療法と緩和医療	在宅医療を含む緩和ケアにおける音楽療法の役割と現状			米 倉
15	まとめと評価				米 倉
【教科書】 適宜提示する					
【参考書】 「音楽療法入門－理論と実践－」上・下 一麦出版社					
【成績評価方法】 出席、課題の取り組み方、授業態度、パフォーマンス等を総合的に評価する					
【注意事項】					
【備考】 人との繋がりを大切にする質の高いプロフェッショナルを目指す学生に受講していただき、また、それに相応しい積極的な受講態度を期待致します					

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
精 神 保 健 看 護 論	必修	1 単位	4 年	後期	○藤野 ユリ子・柴田 裕子
【科目名の英文】 Principles of Mental Health Nursing					
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） 精神保健の理念を理解し、精神的健康の維持・向上に向けた精神保健活動および精神保健上の社会問題に対する支援について学ぶ					
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） 1. 精神保健の理念について説明できる 2. 健康的健康維持・向上に向けた精神保健活動について説明できる 3. 精神保健上の社会的問題について説明できる 4. 精神保健上の社会的問題に対する支援について説明できる 5. 精神障がい者に対する精神保健活動について説明できる 6. 精神障がい者を取り巻く法律や社会資源について説明できる					
【授業の内容】					
回数	題 目	講 義 内 容			担当者
1	精神保健の理念と領域	精神保健の理念と対象領域 国際的視野から見た精神保健			藤 野
2	家庭と精神保健	家庭における精神保健上の問題 家族機能のアセスメント			藤 野
3	学校と精神保健	学校における精神保健上の問題とそれに対する支援			藤 野
4	職場における精神保健	職場における精神保健上の問題とそれに対する支援			藤 野
5	社会病理現象と支援①	自殺防止とそのサポートシステム①			藤 野
6	社会病理現象と支援②	自殺防止とそのサポートシステム②			藤 野
7	社会病理現象と支援③	DV、デート DV とそれに対する支援			柴 田
8	社会病理現象と支援④	マタニティブルー・産後うつのメカニズムと看護			柴 田
9	社会病理現象と支援⑤	引きこもり、虐待の現状と課題			藤 野
10	社会病理現象と支援⑥	自己のメンタルヘルス①			大 野
11	社会病理現象と支援⑦	自己のメンタルヘルス②			大 野
12	精神障がい者を取り巻く 法律と社会資源①	精神障がい者を支援する法制度			藤 野
13	精神障がい者を取り巻く 法律と社会資源②	精神保健福祉法と社会資源①			藤 野 外部講師
14	精神障がい者を取り巻く 法律と社会資源③	精神保健福祉法と社会資源②			藤 野
15	まとめと評価				藤 野
【教科書】 出口貞子監修：ナーシンググラフィカ 精神看護学①情緒発達と看護の基本 出口貞子監修：ナーシンググラフィカ 精神看護学②精神障害と看護の実践					
【参考書】 授業の中で随時紹介する					
【成績評価方法】 出席（20％）、レポート（20％）、定期試験（60％）					
【注意事項】 自学自習用教材を学内ネットワークを利用して提示する					
【備考】 課題の提示および提出は、学内ネットワークを利用する					

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
公衆衛生看護学Ⅳ (公衆衛生看護管理)	選択	1 単位	4 年	前期	○松尾 和枝・酒井 康江 山田 小織
【科目名の英文】Public Health Nursing Ⅳ					
【一般目標】(General Instructional Objective: GIO) 公衆衛生看護管理の構成要素、専門的自律と人材育成について理解するとともに、健康危機管理の理念や目的、制度とシステム、健康課題及び展開方法について学修を深める。また保健福祉施設の役割や機能、活動の実際について学び、保健師との連携・協働の可能性を探る。					
【個別的行動目標】(Specific Behavioral Objective: SBO) 1. 地方公共団体の組織的事業運営、および公衆衛生看護管理の目的およびその機能について理解する。 2. 住民の健康の保持・推進、地域ケアの質の確保のための施策化について理解する。 3. 施策・事業の円滑な運営のために必要な予算管理・人事管理などの業務管理について理解する。 4. 住民の権利保障と健康危機管理・リスクマネジメントの必要性について理解する。 5. 公衆衛生看護研究の目的や意義、研究課題や方法について理解する。 6. 関係する保健福祉施設と役割・機能、および保健師との連携・協働の実際を理解する。					
【授業の内容】					
回数	題 目	講 義 内 容			担当者
1	公衆衛生看護学管理	管理の目的と機能、地域ケアの質保証 予算管理（保健福祉計画の策定と予算）、 情報管理、人事管理、組織管理、社会資源管理			松 尾
2		健康危機管理～災害時保健活動、パンデミック時の保健活動 研究の目的と意義、研究課題と研究方法			酒 井
3・4		公衆衛生看護管理の実際			外部講師
5・6	対象別公衆衛生 看護活動（発展編）	対象別公衆衛生看護活動発展編の演習説明 事前学習			松尾・酒井 山田
7・8		事前学習、発表会			
9～16		対象別公衆衛生看護活動の実際（演習）			
17・18		発表会準備			
19・20		発表会			
21・22		まとめ			
23	評価				松 尾
【教科書】 「標準 保健師講座 1 公衆衛生看護学概論」（医学書院） 標美奈子他					
【参考書】「標準 保健師講座 2 公衆衛生看護技術」（医学書院） 中村裕美子他 「標準 保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動」（医学書院） 中谷芳美他 「最新 保健学講座 1 公衆衛生看護学概論」（メヂカルフレンド社） 金川克子他 「最新 保健学講座 5 公衆衛生看護学間理論」（メヂカルフレンド社） 平野かよ子他					
【成績評価方法】・筆記試験 50％ ・課題レポート提出状況とその内容、授業への参加態度および取組み姿勢 50％					
【注意事項】 保健師コース選択者は選択必修					
【備考】 学内ネットワークを利用した課題提出を行うことがある。					

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
公衆衛生看護学Ⅴ (保健活動・保健指導の発展)	選択	2 単位	4 年	前後期	○酒井 康江・松尾 和枝 山田 小織・光安 梢
【科目名の英文】Public Health Nursing V					
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） 既習の知識や技術を応用・発展させることが求められる。また現場での体験（演習）が主となるので、一貫して、主体的な発言や行動が必要とされる。実践に基づいて学んだ事柄を、全体でディスカッションすることで、更に自分の考えを広げ深めていく。最終的には、「公衆衛生看護とは何か」「今、保健師に求められることは何か」について、論じられるようになる。					
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） 1. グループ演習となるので、一連の過程で、メンバーシップ・リーダーシップを発揮する。 2. 計画的に演習が進行するように、スケジュールを立案する。 3. あらゆる手段を使い、必要な事前学習に取り組む。 4. 指導者および教員から、指導や助言をもらいながら、演習全体を軌道修正していく。 5. 演習後は、全体を総括して学んだこと、および自らの言葉で「公衆衛生看護・保健師の役割」について発表し、全体ディスカッションで、更に考えを広げ深めていく。					
【授業の内容】					
回数	題 目	講 義 内 容			担当者
1・2	対象別公衆衛生 看護活動（発展編）	問題を多く抱える対象者への保健指導技術			松 尾
3・4		傾聴技術のシミュレーション			外部講師
5・6		聴き手の役割と態度 傾聴体験談			
7・8		保健指導技術発展編の演習説明、事前学習			酒 井
9・10		事前発表会			松尾・酒井 山田・光安
11～22		保健指導技術の実際（演習）			
23・24		報告会準備			
25～27		報告会			
28・29		まとめ			
30		評価			酒 井
【教科書】「標準 保健師講座 1 公衆衛生看護学概論」（医学書院） 標美奈子他 「標準 保健師講座 2 公衆衛生看護技術」（医学書院） 中村裕美子他 「標準 保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動」（医学書院） 中谷芳美他					
【参考書】 保健師業務要覧 （日本看護協会出版会）					
【成績評価方法】・課題レポート提出状況とその内容、授業への参加態度および取り組み姿勢 ・個人評価 50%、グループ評価 50%					
【注意事項】 実際、地域住民の方へ出向き演習をさせていただく。 保健師コース選択者は選択必修。					
【備考】 学内ネットワークを利用した課題提出を行います。					

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
公衆衛生看護学実習	選択	5 単位	4 年	前期 後期	○松尾 和枝・酒井 康江 山田 小織・光安 梢 緒方 智美
【科目名の英文】 Community Health Nursing Practice					
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） 1. 地域で生活する人々の生活と暮らしに焦点をあて、環境との相互作用の中で対象の QOL の向上を支援する保健師の役割と機能について学修する。 2. あらゆる発達段階、健康レベルにある個人・家族・集団・地域を対象に、疾病予防・健康維持増進（自律）を個別的・組織的・体系的・継続的に促す公衆衛生看護の専門性について学修する。 3. 地域ケアシステムの中で、PDCA サイクルを展開し住民の健康問題を解決・改善していく公衆衛生看護の特性について学修する。					
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） 1. 地域の特性と住民の健康状態を連動して捉え、抽出された健康課題に対する地域保健活動計画を説明できる。 2. 地域住民や関係職種と協働して、健康課題を解決・改善していく公衆衛生看護活動について説明できる。 3. 各発達段階、健康レベルごとの、予防活動と健康維持増進活動について説明できる。 4. 地域住民の健康を保障するための社会資源の開発や、地域ケアシステム構築について説明できる。 5. 公衆衛生看護活動を担う保健所・保健センターの役割や機能および保健師の責務について説明できる。 6. 地域の健康危機管理体制における、保健所・保健センターの役割と活動方法について説明できる。 7. 組織を運営するための公衆衛生看護管理について説明できる。					
【授業の内容】 ◎実習方法など詳細は、実習要項を参照のこと。					
【教科書】 公衆衛生看護学概論および公衆衛生看護学Ⅰ～Ⅴで使用したテキスト					
【参考書】 国民衛生の動向（厚生労働統計協会） 保健師業務要覧（日本看護協会出版会）					
【成績評価方法】 出席、記録物、実習への取り組み姿勢や態度、実習指導者評価 以上を勘案し、教員が総合評価する					
【注意事項】 保健師コース選択者は選択必修					
【備考】 ・学内ネットワークを利用した課題提出を行うことがある。 ・既習の知識や技術を復習するためのワークブックがあり、それは実習中も活用できるので、真剣に取り組むこと。					

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
ヒューマンケアリング論Ⅲ	必修	1 単位	4 年	後期	前 田 三 枝 子
【科目名の英文】 Human Caring Ⅲ					
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） 各看護学領域で担当した対象者に対する看護実践の過程を、ヒューマンケアリングの観点から振り返り、自己の看護観を言語化する。					
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） (1) 領域実習で体験したケアで、一番印象深い事例を取り上げ、ナラティブ（ストーリー形式）に叙述する。 (2) 臨床判断過程を省察する。 (3) ケアリング実践に使われる援助技術をクリティークする。 (4) 看護観を記述する。					
【授業の内容】					
回数	題 目	講 義 内 容			担当者
1	コースガイダンス	看護体験をナラティブストーリーにする意味 看護実践とリフレクション			前 田
2	リフレクション思考に必須のスキル トレーニング	リフレクションの 5 つのスキル ①自己への気づき ②描写 ③批判的分析 ④総合 ⑤評価			前 田
3	Gibbs のリフレクションサイクル	①説明（記述） ②感情の表現 ③評価・分析 ④考察 ⑤行動計画			前 田
4	印象深い体験事例の語り	体験した看護事例を語り合う、聴き合う（GW） フィードバックのスキル「傾聴」「承認」「オープンでパワフルな質問」			前 田
5	ヒューマンケアリングの実践： 自己の事例をリフレクションする	ワトソンの 10 のカリタスプロセスと照合しながらリフレクションし、 記述、発表する。			前 田
6					
7					
8					
9	ヒーリングプロセスとケアリング 魂と体の調和を目指す方法	看護に使う 28 の補完的・代替的療法をグループでクリティークし、 日本における看護実践の事例を探索する。			前 田
10					
11	病の意味と信仰	ケアリングにおける祈りと希望を「逆境の恩寵―祈りに生きた家族の物語」から読みとり、語り合う			前 田
12	看護観の作成	個人ワーク			前 田
13					
14	今後伸ばしたい課題の発表	グループワークと全体発表			前 田
15	まとめと評価	総括			前 田
【教科書】 ①ジーン・ワトソン著，稲岡文明他訳；ワトソン看護論 ヒューマンケアリングの科学，第 2 版， 医学書院，2014 ②徳永徹著；「逆境の恩寵―祈りに生きた家族の物語」，新教出版社，2014					
【参考書】 別途紹介する					
【成績評価方法】 課題レポートおよび授業参加度 40%					
【注意事項】 指定された予習を必ず行い、授業に積極的に参加する。課題レポートの提出期限厳守					
【備考】					

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
国 際 保 健 学	必修	1 単位	4 年	前期	○松尾 和枝・酒井 康江
【科目名の英文】 International Health					
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） 諸外国の保健看護医療の実態を理解し、文化や社会生活背景などの異なる人々への看護活動の方法や課題について学習する。 また、看護の専門性を発揮した国際協力、貢献のありかたについて学習する					
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） 1. 世界における貧困や健康格差など、国際保健が抱える現状と課題について学修する。 2. 国際保健に関する組織やその活動内容、また活動地域について学修する。 3. 国際保健活動における看護職の専門性と、必要な知識や技術、またその可能性について学修する。 4. 看護職としての国際協力の可能性について学修する。 5. 異文化理解と、異文化が健康にもたらす影響について学修する。					
【授業の内容】					
回数	講 義 内 容				担当者
1	国際医療保健協力、政府開発援助、人間の安全保障、国連機関				松 尾
2	国際協力活動の実際① ～ ODA 専門家として（モロッコ）				松 尾
3	世界の健康、世界で活動する看護職の現状と課題				酒 井
4	JOCV（青年海外協力隊）の応募から帰国まで				酒 井
5	国際協力活動の実際② ～ JICA [JOCV] として（パラグアイ）				酒 井
6	国際協力活動の実際③				外部講師
7	「異文化体験」演習、まとめ				酒 井
8	評価				松 尾
【教科書】 看護の統合と実践③ 国際看護学 メヂカルフレンド社 田村やよひ編集					
【参考書】国民衛生の動向（厚生統計協会） 病気と健康の世界地図 丸善株式会社 知って考えて実践する 国際看護 医学書院 近藤麻里					
【成績評価方法】 ・筆記試験 80％、 ・課題レポート提出状況とその内容、授業への参加態度および取組み姿勢 20％					
【注意事項】					
【備考】学内ネットワークを利用した課題提出を行うことがある。 本授業を通して“看護で国境を越えられる”ということを実感し、将来の選択肢の一つとして考えてもらいたい。そのためにも授業中は、主体的に考え行動することを期待する。					

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
国 際 保 健 学	選択	1 単位	4 年	前期	○松尾 和枝・酒井 康江
【科目名の英文】 International Health					
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） 諸外国の保健看護医療の実態を理解し、文化や社会生活背景などの異なる人々への看護活動の方法や課題について学習する。 また、看護の専門性を発揮した国際協力、貢献のありかたについて学習する					
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） 1. 世界における貧困や健康格差など、国際保健が抱える現状と課題について学修する。 2. 国際保健に関する組織やその活動内容、また活動地域について学修する。 3. 国際保健活動における看護職の専門性と、必要な知識や技術、またその可能性について学修する。 4. 看護職としての国際協力の可能性について学修する。 5. 異文化理解と、異文化が健康にもたらす影響について学修する。					
【授業の内容】					
回数	講 義 内 容				担当者
1	国際医療保健協力、政府開発援助、人間の安全保障、国連機関				松 尾
2	国際協力活動の実際① ～ ODA 専門家として（モロッコ）				松 尾
3	世界の健康、世界で活動する看護職の現状と課題				酒 井
4	JOCV（青年海外協力隊）の応募から帰国まで				酒 井
5	国際協力活動の実際② ～ JICA [JOCV] として（パラグアイ）				酒 井
6	国際協力活動の実際③				外部講師
7	「異文化体験」演習、まとめ				酒 井
8	評価				松 尾
【教科書】 看護の統合と実践③ 国際看護学 メヂカルフレンド社 田村やよひ編集					
【参考書】国民衛生の動向（厚生統計協会） 病気と健康の世界地図 丸善株式会社 知って考えて実践する 国際看護 医学書院 近藤麻里					
【成績評価方法】 ・筆記試験 80%、 ・課題レポート提出状況とその内容、授業への参加態度および取組み姿勢 20%					
【注意事項】					
【備考】学内ネットワークを利用した課題提出を行うことがある。 本授業を通して“看護で国境を越えられる”ということを実感し、将来の選択肢の一つとして考えてもらいたい。そのためにも授業中は、主体的に考え行動することを期待する。					

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
看 護 管 理 学	必修	1 単位	4 年	後期	○前田 三枝子・田中 洋子
【科目名の英文】 Management of Nursing					
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） よりよい看護提供のために、人的資源・物的資源・財的資源・情報資源を有効に活用するための基本的知識及び技術を理解し、チーム医療・看護ケアにおける調整とリーダーシップおよびマネジメントができる能力を学修する。					
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） 1．サービスおよびチーム医療の視点から看護管理に対する自己の概念を構築することができる。 2．看護提供には、人的資源・物的資源・財的資源・情報資源が不可欠であることが理解できる。 3．サービスの基本的特性を理解して看護サービスの質評価に必要な指標、理論などを説明できる。 4．看護管理上の問題解決技法を学修し、チーム（組織・集団）としての看護提供のあり方を説明できる。 5．今日の医療行政の内容および動向などを踏まえ、経済的な効率を考慮した看護の仕組みを考えることができる。					
【授業の内容】					
回数	題 目	講 義 内 容			担当者
1	第 1 章 看護とマネジメント	1. 看護管理学を学ぶ理由と看護管理の定義 2. 看護におけるマネジメントの変遷			前 田
2	第 2 章 看護ケアのマネジメント	1. 看護ケアのマネジメントと看護職の機能 2. 看護ケアのマネジメントプロセス（PDCA サイクルと看護過程） 3. ケア提供機能とケアのマネジメント機能			前 田
3	第 2 章 チーム医療	1. 組織と組織構造 2. チーム医療に必要な機能（連携・協働、コミュニケーション）			前 田
4・5	第 2 章 看護業務の実践 情報のマネジメント	1. 看護業務、看護基準、看護手順 2. 診療録と看護記録 3. 情報の管理と守秘義務、個人情報保護法と情報開示への対応			田 中
6・7	第 3 章 看護サービスのマネジメント	1. サービスの特性と看護サービス 2. 組織目的達成のマネジメント、理念形成と現状分析 3. 看護の組織化（職位と職務規定、組織構造）			田 中
8・9	第 3 章 看護サービス提供のしくみづくり	1. 看護単位と看護ケア提供システム（プライマリー、チーム、受け持ち、機能別） 2. 人材のマネジメント 3. 看護と労働環境（労働時間、勤務体制、雇用形態、報酬の仕組み、育児・介護休業）			田 中
10・11	第 3 章 医療の質保証とサービスの質の評価	1. 質保証としてのクリニカルパス 2. 看護の質の評価指標 3. 第三者による医療機能評価			田 中
12・13	第 4 章 看護を取り巻く諸制度	1. 保健師助産師看護師法と看護師等の人材確保の促進に関する法律 2. 医療法とそのほかの関連法規 3. 日本の保険医療制度と看護ケアの対価 4. 医療安全管理と看護職の法的責任			田 中
14	医療安全と職員教育	全職員対象医療安全研修会に参加し、医療提供者として生涯自己研鑽する必要性を自覚する。			前 田
15	まとめと評価				前 田
【教科書】 系統看護学講座看護の統合と実践：〔1〕看護管理，医学書院 第9版					
【参考書】 ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践①看護管理 メディカ出版					
【成績評価方法】 筆記試験 80%、課題提出および授業への参加度 20%					
【注意事項】					
【備考】 医療安全研修は福岡東医療センター主催の研修会に参加。通常 18 時～19 時半に実施される。 詳細は別途案内					

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
看 護 の 歴 史	選択	1 単位	4 年	後期	松 岡 緑
【科目名の英文】 History of Nursing					
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） 看護史を学ぶことによって、現在、看護がおかれている状況や問題についての理解を深め、現在の問題をどのように解決していけばよいか、どのような看護を目指していけばよいか、どのような看護を目指していけばよいか、という問題に対して将来への展望を示唆してくれるということを学ぶ。					
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） 1、フローレンス・ナイチンゲールの生涯と業績を述べることができる。 2、アメリカにおける近代看護について述べることができる。 3、日本における近代看護について述べることができる。 4、戦争と看護について述べることができる。 5、第二次大戦後の看護と看護教育について述べることができる。 6、1970年から現在までの看護と看護教育について述べることができる。 7、現在の看護の課題について述べることができる。					
【授業の内容】					
回数	題 目	講 義 内 容			担当者
1	欧米における近代看護	医学的背景、フローレンス・ナイチンゲールの生涯と業績			松 岡
2		フローレンス・ナイチンゲール方式とその広がり			松 岡
3	近代看護の確立と展開	アメリカにおける近代看護の発生、ナイチンゲール方式の移入			松 岡
4		看護教育の組織化、看護事業の組織化			松 岡
5		赤十字の創立とその活動			松 岡
6	日本における近代看護	時代的背景、初期の看護教育機関と指導者達			松 岡
7		日本赤十字社の成立と発展、初期の看護学書、明治期後半の看護教育			松 岡
8		維持できなかったナイチンゲール方式、レベルの向上をめざした養成所	松 岡		
	戦争と看護	日本赤十字社病院の戦時救護、「看護婦規則」の制定			
9	第二次大戦までの看護	現代医学、公衆衛生看護の発達、看護師の国際的団結、ゴールドマーク報告			松 岡
10	今日の看護	第二次大戦後のアメリカの看護、アメリカの看護の現状			松 岡
11		日本の看護（終戦から1970年ごろまで）			松 岡
12		占領下の看護と看護教育、保健婦助産婦看護婦法の制定			松 岡
13		日本の看護（1970年から現在まで）			松 岡
14	今日の看護の課題				松 岡
15	まとめと評価				松 岡
【教科書】 適宜、授業時に紹介します。					
【参考書】 授業時に紹介します。					
【成績評価方法】 出席状況、期末試験、レポート、授業態度等総合的に評価します。					
【注意事項】					
【備考】					

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
緩 和 ケ ア	選択	1 単位	4 年	後期	穴 井 め ぐ み 他
【科目名の英文】 Palliative care					
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） 緩和ケアを必要とされる人の身体・心理・社会・霊的な状態を理解し、症状のコントロール、精神的安寧、家族のケアについて学習する。人間と生と死を通して、尊厳ある死について考えることができる。					
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） (1) 人間の生と死を通して、尊厳ある死とは何かについて説明できる。 (2) 緩和ケアの歴史、定義、意味について説明できる。 (3) 緩和ケアを必要としている人・家族の身体・心理・身体的な状態が説明できる。 (4) 症状コントロールについて説明できる。 (5) 在宅・施設における緩和ケアについて説明できる。 (6) こどもにおける緩和ケアについて説明できる。					
【授業の内容】					
回数	題 目	講 義 内 容			担当者
1 2	人間の死をどうとらえるか	・ 命の意味、死の意味するもの ・ 尊厳死とは			穴 井
3 4	緩和ケアとは	・ 緩和ケアの定義・内容 ・ がん患者・非がん患者の緩和ケア			穴 井
5 6 7 8 9 10 11	緩和ケアにおける看護の基本	・ 疼痛緩和 ・ 症状コントロール ・ 心理・社会・スピリチュアル的側面への援助 ・ 死のプロセスへの援助 ・ 家族への援助			穴 井
		・ がん緩和ケアにおける看護の実践			
13	在宅における緩和ケア	・ 在宅・施設における緩和ケア			穴 井
14	子供の緩和ケア	・ こどもの緩和ケア			穴 井
15	まとめと評価：・ 尊厳ある死とは：グループ討論				穴 井
【教科書】 講義内で指定する。					
【参考書】 系統看護学講座 別巻 10 緩和ケア 医学書院					
【成績評価方法】 課題内容、授業態度、定期試験など総合して判断する。					
【注意事項】					
【備考】					

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
緩 和 ケ ア	選択	1 単位	4 年	前期	穴 井 め ぐ み 他
【科目名の英文】 Palliative care					
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） 緩和ケアを必要とされる人の身体・心理・社会・霊的な状態を理解し、症状のコントロール、精神的安寧、家族のケアについて学習する。人間と生と死を通して、尊厳ある死について考えることができる。					
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） (1) 人間の生と死を通して、尊厳ある死とは何かについて考えることができる。 (2) 緩和ケアの定義、意味について説明できる。 (3) 緩和ケアを必要としている人・家族の身体・心理・身体的な状態が説明できる。 (4) 症状コントロールについて説明できる。 (5) 在宅・施設における緩和ケアについて説明できる。 (6) こどもにおける緩和ケアについて説明できる。					
【授業の内容】					
回数	題 目	講 義 内 容			担当者
1	人間の死をどうとらえるか	・ 命の意味、死の意味するもの ・ 尊厳死とは ・ 死生観			穴 井
2	緩和ケアとは	・ 緩和ケアの定義・内容 ・ 緩和ケアにおけるチーム医療 ・ がんと緩和ケア ・ 非がん疾患と緩和ケア			穴 井
3	看護の基本	・ 疼痛緩和・症状コントロール			穴 井
4		・ 心理・社会・スピリチュアル的側面への援助			穴 井
5		・ 死のプロセスへの援助			
6		・ 看護の実際			外部講師
6	在宅における緩和ケア	・ 在宅における緩和ケア ・ 特別養護老人ホームでの緩和ケア			穴 井
7	子どもや高齢者の緩和ケア	・ 子どもの緩和ケア ・ 高齢者の緩和ケア			穴 井
8	まとめ	・ 尊厳ある死とは：グループ討論			穴 井
【教科書】 講義内で指定する。					
【参考書】 系統看護学講座 別巻 10 緩和ケア 医学書院					
【成績評価方法】 課題内容（60％）、授業態度（40％）など総合して判断する。					
【注意事項】					
【備考】					

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員	
看 護 学 特 論	選択	1 単位	4 年	前期 後期	松 尾 和 枝	
【科目名の英文】 Advanced Course of Nursing						
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） 対象を理解し、対象の個別性に適した看護を構築するために、既習した知識・技術をさらに深め、発展することができることを目的とする。また、医学・看護の動向から、最新の話題を取り上げ、知識の充実をはかる。						
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） 1. 超高齢化社会における終末期看護の役割と機能について考える。 ・時代のニーズに対応した看護経営の実践を学ぶ。 ・エビデンスに基づく症状緩和ケアのテクニックを学ぶ。 2. 高次機能障害児者の理解と看護を学ぶ。 3. 医療者に求められる様々なノンテクニカルスキルを学ぶ。 4. 看護の専門性を踏まえた今後の看護活動を展望する。						
【授業の内容】						
回数	題 目	講 義 内 容			担当者	
1	オリエンテーション	社会の変化の中で求められる看護の役割			松 尾 外部講師	
2	超高齢化社会における 終末期看護の役割と機能	①ホスピス、緩和ケア、グリーフケアの実践				
3		②訪問看護ステーション事業の展開				
4		③地域ターミナル事業の展開				
5		④症状緩和ケアテクニックの技術と実践				
6		⑤納棺士の活動				
7・8	高次機能障害児者の理解と看護	⑥高次機能障害児者の理解と看護				
9	医療職に求められる様々な ノンテクニカルスキル	⑦思考技術、議論技術、管理技術				
10・11		⑧ピアエデュケーションの理論と実践				
12・13		⑨自立集団形成の対話方式（ワールドカフェ）				
14	看護の専門性を踏まえた 今後の看護活動	⑩職能集団としての看護協会				
15		⑪政治の世界における看護の役割				
【教科書】 随時、資料を配布します。						
【参考書】 随時、紹介します。						
【成績評価方法】 授業への参加態度および取組み姿勢（出欠・遅刻早退） 毎回の授業の感想・課題レポートの提出状況とその内容						
【注意事項】 外部講師との日程調整により講義日程順番は変更の可能性がある。						
【備考】						

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員	
総 合 看 護 演 習	選択	1 単位	4 年	前期	○福澤 雪子・福井 幸子 山崎不二子・松尾 和江	
【科目名の英文】 Integrated Nursing Practice						
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） 本学で学習する看護技術項目と到達レベルをもとに、学生が4年間の学習を通して看護技術の経験ができていない項目とそうでない項目を確認して自らの課題を明らかにし、e-ラーニングやビデオ教材等を活用しながら看護技術の学習に取り組み、動画にまとめ提出する。						
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） 1. 提示された看護技術に関する自己の学習課題を明らかにすることができる。 2. 看護技術の自己学習計画を立案し主体的に取り組むことができる。 3. 科学的根拠を確認しながら知識・技術の両面から学習を深めることができる。 4. 提示事例に必要な看護を導き出すことができる。 5. 学習の成果を提示事例に適応して看護の一場面にまとめることができる。 6. 看護場面のロールプレイで気づいた点を場面の修正や技術の見直しに反映できる。 7. ロールプレイを動画に記録して提出することができる。						
【授業の内容】						
回数	題 目	講 義 内 容			担当者	
1	ガイダンス	看護学総合演習の学習方法について説明を行い、看護技術に関する自己の学習課題の明確化～課題提出までの流れを確認する			福 澤	
2 3	自己の学習課題の 明確化学習計画の立案と調整	指導領域から提示された事例を検討し、自己の学習課題を明確にする学習内容や方法の選定、学習を進める上で必要な物品・場所の確保など、具体的学習計画を立案し、提出する計画の実現可能性について指導領域の教員と調整を行う			指導 領域の 教員	
4 5 6 7 8 9	学習課題への取り組み (自己学習)	学習計画に沿って根拠を確認し看護技術の学習を深める 技術演習に取り組み、担当教員に相談し指導を受ける 自己学習を振り返り、計画修正を行う 学習課題の取り組み状況の確認(指導教員) 提示事例を検討して必要な看護を導き出す				
10 11 12 13 14 15	実践と技術チェック	学習課題に対する取り組みの成果を提示事例に適応して看護の一場面にまとめる 看護場面のロールプレイを行い、気づいた点を看護場面の修正や技術の見直しに反映する 教員による技術の確認(途中少なくとも1回) 看護場面のロールプレイを動画に記録し、自己評価とともに指導領域に提出する				
【教科書】						
【参考書】						
【成績評価方法】 課題の取り組み状況（50%）、提出課題（50%）						
【注意事項】 指導領域の教員に自己の学習課題や学習計画を提出し、技術演習に必要な諸調整を自主的に 行い、学習に取り組む。						
【備考】 動画撮影機材等はメディアセンターで貸し出しを受ける。 データは指定の電子媒体に保存したものを提出する。						

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
卒 業 研 究	必修	2 単位	4 年	後期	○八尋・青山・吉武・青木・藤川・三好・福井・穴井・中村 門司・薄井・丸山・太田・福澤・奥野・椎葉・中西・田出 藤好・山崎・藤野・柴田・松尾・酒井・山田・光安
【科目名の英文】 Graduation Research					
【一般目標】 (General Instructional Objective: GIO) 看護及び看護関連領域の既存の知識や理論を研究課題として探求する。具体的には、研究してみたい課題を明確にし、課題探求（実証的研究）の方法（調査・実験等）に関する文献レビューを行い、論文形式にまとめるまでの研究の基本的なプロセスを学習する。					
【個別的行動目標】 (Specific Behavioral Objective: SBO) (1) 看護研究入門で講読した文献及び看護学演習・実習等で学習した基本的な知識・技術に関する知見に基づき、様々な媒体を介して適切な文献（研究論文）を収集できる。 (2) 文献検索した研究論文をセミナー講読し、基本統計量や検定方法について理解を深める。 (3) 収集した文献をクリティークし、看護専門領域における当該知識・用語・技術に関する既知の事項、未知の事項について整理できる。 (4) (1)(2)(3) のプロセスを通して探求してみたい課題を明らかにすることができる。 (5) 課題を探求するための動機・目的を明確にし、研究の必要性について記述できる。 (6) 文献レビューを行い、の結果を論文形式にまとめることができる。 (7) セミナー学習、発表会等へ積極的に参加する。					
【授業の内容】 <u>方法</u> 1) セミナー形式で学習を進める。 2) 担当教員と話し合い、指導を受けて研究領域の決定を行う。 3) 収集した文献をクリティークし、(看護) 専門領域における当該知識・用語・技術に関する既知の事項、未知の事項について整理する。 4) 研究課題を探求する動機、目的、研究の必要性、概念枠組みについてまとめる。 5) 明確にしたい看護・看護関連領域の検討課題について探求する。 6) 文献レビューの結果を論文形式（要旨、序論、研究目的、研究方法、結果、考察、結論、文献）にまとめる。 7) 指定された集録形式に整えて、期限内に提出する。 <u>タイムスケジュール</u> 1) 4月に担当教員との打ち合わせを行い、研究課題探索の為に文献検索を行い、収集した文献をクリティークし、(看護) 専門領域における当該知識・用語・技術に関する既知の事項、未知の事項について整理する。 2) 必要に応じて中間レポートを作成し、発表を行い、研究テーマを絞り込む。 3) 夏休み前に経過を振り返り、その後のタイムスケジュールを確認する。 4) 研究のまとめは担当教員から指示された期間に行う。 <u>卒業研究集録の作成</u> 1) 卒業研究の成果を集録原稿にまとめる。 2) 集録原稿は、A4 版 3 ページにまとめる。 3) 集録原稿作成並びに提出方法については「2015 年度卒業研究学習要領」参照 4) 集録原稿は印刷した原稿 1 部と電子データを USB に入れて提出する。 5) 提出締め切り：2015（平成 27）年 10 月 23 日（金曜日） 6) 提出先：各担当教員					
【教科書】 黒田裕子著：看護研究 step by step 第 4 版、医学書院、2012（看護研究入門で使用）					
【参考書】 参考書等は適宜提示する。					
【成績評価方法】 評価の配分 1) 出席状況（10%）、2) セミナーへの参加状況（20%） 3) プレゼンテーション（10%）、4) 個々の課題の達成状況（60%）					
【注意事項】					
【備考】					

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
看 護 学 総 合 実 習	必修	2 単位	4 年	前期	○山 崎 不 二 子 他
【科目名の英文】Comprehensive Nursing Practice					
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） 学生自らの問題意識に基づき、専門分野での実習を踏まえ、実際の看護活動に即した主体的で自律的な臨地実習を計画、実施、評価することによって、これまでの学びを統合する。また、看護実践をとらえて看護に対する洞察を深め、キリスト教の愛の精神に基づくヒューマンケアリングを実践する専門職者としての自己概念の基礎を形成する。					
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） 1. 学習課題を明確にし、主体的に実習計画や方法を立案し、実践することができる。 2. 様々なライフサイクルや健康レベルにある対象者に対応した看護の必要性が理解できる。 3. 対象の健康生活支援のために、医療福祉チームの人々との連携と協働の実際を知り、看護の専門性や役割、継続性について考えることができる。 4. 看護学総合実習を通して自己の看護観を発展させることができる。					
【実習の概要】 1. 時期 事前学習期間 2015 年 4 月 20 日（月）～ 4 月 24 日（金）のうち 4 日間 実習期間 2015 年 5 月 11 日（月）～ 6 月 19 日（金） 2. 各コースの目的・内容・施設、期間（別途提示） 学生は、各看護領域から提示された実習目的・内容等から、自らの課題を深めるために必要と考えるコースを 1 つ選択し、コース別の実習を行うことにより、今までの学習の統合をはかる。 学生が主体的に実習目標や行動計画などをたてて実習をするため、実習担当教員との十分な協議を行う。 3. 実習の進め方（詳細は 2015 年度看護総合実習要項参照） 1. オリエンテーション 1) 2014 年 12 月 22 日（月）（実習コースの提示） 2) 今までの学習から自身の課題を明らかにし、実習のコースを選択する。 3) 第 1 希望から第 3 希望までを選択し 2015 年 1 月 19 日（月） 17:00 までに事務室前ボックスに提出する。 4) 実習配置にあたり、学生の選択と各看護領域の受け入れ（実習担当教員数）に隔たりがある場合は調整を行う。 5) 実習配置は 3 月上旬までに決定し学内掲示する。 2. 実習方法 1) 課題および看護学総合実習の目標を踏まえ、各自の実習目標を設定し実践可能な行動計画を主体的に立案する。 2) 実習目標及び行動計画等は、実習担当教員に提示し修正追加を行う。 3) 行動計画または実習の進め方は、臨地実習指導者の助言を得て実践可能なものにする。 4) 課題に沿って実習を展開するにあたり、十分な事前学習を行い、必要な場合は看護技術の演習を行う。 5) 実習目標および行動計画に沿って実習する。 3. 実習記録 1) 様式については各実習担当教員の指示にしたがう。 2) 実習終了後、「看護学総合実習レポート」（2 部）を作成し提出する。指定の様式に従う。 3) 実習後の振り返りなどのについては、実習担当の指示による。 4) 提出期日 実習終了後翌週の月曜日、17:00 までに、出席表とともに学務係へ提出する。 4. 7 月 10 日（金）学内発表会を行う。（詳細は 2015 年度看護総合実習要項参照）					
【教科書】					
【参考書】					
【成績評価方法】 1) 事前の取組状況、目標達成状況、実習記録、実習態度、実習出席状況の 5 項目をもって総合的に評価する。 2) 各看護領域で評価をとりまとめ、科目責任者が全体把握を行う。					
【注意事項】 事前学習、実習打ち合わせは入念に行う。学内発表会の運営は学生が主体となって運営する。					
【備考】 医療事故の防止、個人情報保護についてはガイドラインを遵守するよう努める。 「ICN 看護師の倫理綱領」「看護者の倫理綱領（日本看護協会）」に記載されている倫理基準にもとづき考え、行動する。					

授 業 科 目 名	必・選	単位数	学年	学期	担 当 教 員
看 護 学 総 合 実 習	必修	3 単位	4 年	前期	○山 崎 不 二 子 他
【科目名の英文】Comprehensive Nursing Practice					
【一般目標】（General Instructional Objective: GIO） 学生自らの問題意識に基づき、専門分野での実習を踏まえ、実際の看護活動に即した主体的で自律的な臨地実習を計画、実施、評価することによって、これまでの学びを統合する。また、看護実践をとおして看護に対する洞察を深め、キリスト教の愛の精神に基づくヒューマンケアリングを実践する専門職者としての自己概念の基礎を形成する。					
【個別的行動目標】（Specific Behavioral Objective: SBO） 1. 学習課題を明確にし、主体的に実習計画や方法を立案し、実践することができる。 2. 様々なライフサイクルや健康レベルにある対象者に対応した看護の必要性が理解できる。 3. 対象の健康生活支援のために、医療福祉チームの人々との連携と協働の実際を知り、看護の専門性や役割、継続性について考えることができる。 4. 看護学総合実習を通して自己の看護観を発展させることができる。					
【実習の概要】 1. 時期 事前学習期間 2015 年 4 月 20 日（月）～ 4 月 24 日（金）のうち 4 日間 実習期間 2015 年 5 月 11 日（月）～ 6 月 19 日（金） 2. 各コースの目的・内容・施設、期間（別途提示） 学生は、各看護領域から提示された実習目的・内容等から、自らの課題を深めるために必要と考えるコースを 1 つ選択し、コース別の実習を行うことにより、今までの学習の統合をはかる。 学生が主体的に実習目標や行動計画などをたてて実習をするため、実習担当教員との十分な協議を行う。 3. 実習の進め方（詳細は 2015 年度看護総合実習要項参照） 1. オリエンテーション 1) 2014 年 12 月 22 日（月）（実習コースの提示） 2) 今までの学習から自身の課題を明らかにし、実習のコースを選択する。 3) 第 1 希望から第 3 希望までを選択し 2015 年 1 月 19 日（月） 17:00 までに事務室前ボックスに提出する。 4) 実習配置にあたり、学生の選択と各看護領域の受け入れ（実習担当教員数）に隔たりがある場合は調整を行う。 5) 実習配置は 3 月上旬までに決定し学内掲示する。 2. 実習方法 1) 課題および看護学総合実習の目標を踏まえ、各自の実習目標を設定し実践可能な行動計画を主体的に立案する。 2) 実習目標及び行動計画等は、実習担当教員に提示し修正追加を行う。 3) 行動計画または実習の進め方は、臨地実習指導者の助言を得て実践可能なものにする。 4) 課題に沿って実習を展開するにあたり、十分な事前学習を行い、必要な場合は看護技術の演習を行う。 5) 実習目標および行動計画に沿って実習する。 3. 実習記録 1) 様式については各実習担当教員の指示にしたがう。 2) 実習終了後、「看護学総合実習レポート」（2 部）を作成し提出する。指定の様式に従う。 3) 実習後の振り返りなどのついては、実習担当の指示による。 4) 提出期日 実習終了後翌週の月曜日、17:00 までに、出席表とともに学務係へ提出する。 4. 7 月 10 日（金）学内発表会を行う。（詳細は 2015 年度看護総合実習要項参照）					
【教科書】					
【参考書】					
【成績評価方法】 1) 事前の取組状況、目標達成状況、実習記録、実習態度、実習出席状況の 5 項目をもって総合的に評価する。 2) 各看護領域で評価をとりまとめ、科目責任者が全体把握を行う。					
【注意事項】 事前学習、実習打ち合わせは入念に行う。学内発表会の運営は学生が主体となって運営する。					
【備考】 医療事故の防止、個人情報保護についてはガイドラインを遵守するよう努める。 「ICN 看護師の倫理綱領」「看護者の倫理綱領（日本看護協会）」に記載されている倫理基準にもとづき考え、行動する。					